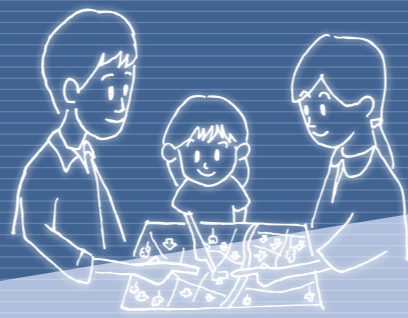


わが家の防災行動メモ

もし洪水が起きたら、どのように避難すればよいのでしょうか。
19～34ページの **逃げどきマップ**と51ページの **判定フロー**で
あなたの避難行動を確認し、家族みんなでいくつかの
避難のパターンを考えておきましょう。



マイ・タイムライン

step 3 避難が必要になった場合をイメージし
避難前の備えやいつ避難を開始するかをメモしましょう。

step 1 逃げどきマップで確認し、 洪水で自宅がどうなるかを記入しましょう。

19～34ページの **逃げどきマップ**で自宅を判定し、あなたの判定結果に○をつけ、
避難行動を確認しましょう。

あなたの判定結果は？

**逃げ遅れたとき
滞在可**

自宅での避難（在宅避難・垂直避難）が可能です。

あなたの避難行動は？

まずは避難を検討しましょう
自宅にとどまる場合には**十分な備えを!**
避難に危険を感じたら無理に自宅外に避難しない

滞在不可

浸水後に自宅にとどまることはできません。
分散避難・広域避難できる場所を探しておきましょう。

**命を守るために
必ず早めの自宅外への避難
が必要です**

逃げどきマップで示される浸水状況は1つの想定にすぎません。
判定結果が“滞在可”であっても、万が一に備えて避難先を考えておきましょう！

step 2 逃げどきマップで確認し、 水害時の自宅からの避難先“3つのパターン”を記入しましょう。

避難パターン 1



浸水のおそれが低い地域の
親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先等へ避難
(広域避難・分散避難)

避難先は各自で確保

広域避難先・分散避難先

避難パターン 2



総合運動公園、菖蒲文化会館、学校施設など、
浸水のおそれが低い避難所へ避難

各自で必需品を持参

避難所

※ 利根川氾濫時には市全域で浸水が想定されているため避難できる避難所は限られます。
※ 避難所には多くの方、様々な方が避難し、混雑が予想されます。まずは各自で避難先を確保しましょう。

避難パターン 3



逃げ遅れてしまったら、命を守る場所へ

自宅にとどまる
(在宅避難)

水・食料等を備蓄

在宅避難の可否 **可能** ・ **不可能**

近くの高くて丈夫な建物
に逃げ込む

各自で必需品を持参

近くの高くて丈夫な建物

※ 居住階まで浸水が達する場合や、家屋倒壊等
氾濫想定区域に含まれる場合には、自宅にと
どまることができません。

発信される 情報や状況など	主な備え [メモ欄]	備えの例
台風発生 警戒レベル1 台風予報 早期注意情報		<ul style="list-style-type: none"> テレビ、インターネットなどで今後の台風を調べ始める 家の周りに風で飛ばされるようなものがないか確認
警戒レベル2 大雨注意報 洪水注意報 台風の今後の見通し		<ul style="list-style-type: none"> 避難するときにもっていくものを準備 携帯電話を充電 ハザードマップで避難場所や避難の方法を再確認 川の水位を調べ始める 広域避難ができる場合は避難開始(避難パターン1 ※49ページ参照)
大雨警報 洪水警報		<ul style="list-style-type: none"> 車での避難はこの時点で広い駐車場のある安全な場所へ 広域避難の移動手段がない方は、栗橋地区・鷺宮地区の安全レベル★の避難所へ避難開始(順次バスで総合運動公園または菖蒲文化会館へ避難)
氾濫注意水位到達 警戒レベル3 高齢者等避難 高齢者等は避難		<ul style="list-style-type: none"> 携帯メールなどで避難情報を受信 避難しやすい服装に着替える 避難指示を受信 広域避難できなかったらここで避難開始(避難パターン3 ※49ページ参照) 徒歩での避難が原則 安全なところへ移動を始める
避難判断水位到達 警戒レベル4 避難指示 危険な場所から全員避難		
災害発生 危険が迫る 警戒レベル5 緊急安全確保	警戒レベル4までに必ず避難! 警戒レベル5は発令できない場合があります。 警戒レベル5を待たずに、必ず危険な場所から避難!	

緊急度 ↑ 高

※災害状況の進展により、必ずしもこの順番で情報が出るとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が重要です。

あなたや家族に何が必要かを確認し、日ごろから備えましょう。

乳幼児や高齢者、疾患のある人など家族構成によって必要なものが異なります。
あなたの家族をイメージし、必要なものを備えましょう。

